



# 関東高校駅伝 選手の安全を優先

11月16日（土）

台風の影響が、関東高等学校駅伝競走大会にも及んでいます。

今年度は、神奈川県高体連が主催なので、丹沢湖周回コースでの実施を予定していましたが、選手の安全を優先して静岡県の裾野市総合運動公園陸上競技場においてトラックレースで代替することとしました。

丹沢湖周辺道路は、台風の影響を受け土砂崩れで道路が寸断されてしまいました。それでも実施に向けて、地元自治体を中心とした復旧作業が行われ、道路は走行可能となりました。しかし、道路に接する斜面には、倒木や岩石が残っていて、地震や風雨で道路に落ちてくることも懸念される状態でした。

神奈川県高体連陸上競技専門部の皆さんが、駅伝実施に向けて奔走してくれましたが、不安は払拭されませんでした。結論は、「選手の安全を最優先する」でした。私にも事前に連絡が入り、了承しました。強行実施して、選手や応援の方、大会関係者が怪我をしたのでは、取り返しがつきません。

11月15日（金）には、選手宿舎となった御殿場時之栖アリーナで開会式を行い、激励のことは述べさせていただきました。その中で形は違っても仲間を信じ、支援してくれる全ての方に感謝し、「こころのタスキ」を繋げるようお願いしました。また、特別表彰では、50回・30回出場の学校に表彰状と楯を贈りました。本校は、男子が1回、女子が6回の出場を果たしていますが、今回の出場はありません。再び力をつけて出場できることを願っています。

